



2021年09月21日

報道関係各位

株式会社エッチ・ケー・エス

商用車のEV化促進に向けた、バッテリー交換式EVトラックの研究開発 について

株式会社エッチ・ケー・エス(本社:静岡県富士宮市、代表取締役社長:水口大輔、以下「エッチ・ケー・エス」)は、この度環境省より公募された「令和3年度バッテリー交換式EV開発及び再エネ活用の組み合わせによるセクターカップリング実証事業」に伊藤忠商事株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長 COO:石井敬太、以下「伊藤忠商事」)を代表企業として応募し、共同実施者として採択されましたのでお知らせいたします。本実証事業では、複数のパートナー企業とバッテリー交換式のEVトラック、それらに搭載するバッテリーパック、及びバッテリーパック交換ステーションを開発する事により、商用車のEV化を促進し、物流網の脱炭素化を目指します。

1. 本プロジェクトの目的

日本政府は、2050年までにカーボンニュートラルを目標として掲げています。特に全CO₂排出量のうち約4割は運輸部門が占めており、物流網の脱炭素化は必要不可欠となります。しかし電動自動車(EV)においては、航続距離や充電時間、充電インフラ、価格といった課題を抱えており、特に稼働時間の長い商用車ではバッテリーの充電に一定の時間を要する事から、充電器の運用に課題があり、商用車のEV化が進んでいない現状があります。

また、政府の目標達成のためには再生可能エネルギーを最大限に利活用することが求められますが、調整力となる蓄電機能が高価であることから、普及が限定的となっています。また地域の防災施設等は非常用電源が不可欠となりますが、必要十分な機能を維持しつつコストの低減も求められています。

以上のような背景を踏まえて、本プロジェクトでは、バッテリー交換式トラックを開発する事により商用車のEV化を促進し、更に再生エネルギー由来の電力の活用を目指すことで、持続可能かつ地域貢献型の脱炭素型交通・物流モデルの構築を目指します。

2. 実証事業の概要

本プロジェクトには、エッチ・ケー・エスの他、伊藤忠商事株式会社、いすゞ自動車株式会社、JFEエンジニアリング株式会社、ファミリーマート株式会社の4社をパートナー企業に、共同参画します。環境省公募の委託事業を通し、バッテリー交換式EVトラック、バッテリーパック及びバッテリー交換ステーションの開発を行い、実証事業では、開発したトラックをファミリーマートの配送車として運用し、埼玉県の上野中央定温センターから各ファミリーマート店舗までの走行実証を行います。

〈実証概要〉

実証期間	令和4年度下旬～令和6年度末（予定）
走行ルート	三郷中央定温センター(埼玉県三郷市)～ファミリーマート各店舗
車両	バッテリー交換式EVトラック
テーマ	【物流網の脱炭素化】 ・トラックのEV化推進 ・バッテリー交換式EVトラックの利便性・コスト競争力の検証 【地域の再生可能エネルギー利活用・BCP対応】 ・再生可能エネルギーを活用したバッテリー充電 ・災害時の電力供給源としての役割(車両・ステーション)

3. 参画各社の役割分担

会社	役割
伊藤忠商事	全体のプロジェクト管理、事業性検討
いすゞ自動車	バッテリー交換式EVトラックの開発
JFE エンジニアリング	バッテリー交換ステーションの開発
エッチ・ケー・エス	バッテリーパックの開発
ファミリーマート	実証フィールドの提供

以上